

平成 29 年度当初予算において意見を反映した主な事業

◎意見数 38

◎新規(一部新規含む)・拡充事業数 22 事業 (内訳:新規 10、拡充 12)

主な事業 (新規 (一部新規含む)・拡充事業)

(単位:千円)

子育て支援・人づくりの充実

「子育てに、おじいちゃん、おばあちゃんに関わることができる仕組みづくり、雰囲気づくりを推進してはどうか」

⇒ 祖父母世代が地域の子どもたちと世代間交流できる拠点づくりを支援し、世代間で支え合いながら地域全体で子育てをする機運の醸成を図ります。
(地域で支える子育て安心事業費 4,768)

安全・安心な社会の構築

「一人暮らしのお年寄りが孤独死しないよう、対策が必要である。」

⇒ 地域住民が主体となって運営し、高齢者に居場所や生活支援、見守り等のサービスを提供する「福祉型小さな拠点(仮称)」の立上げを支援し、地域で高齢者の暮らしを支える仕組みづくりに取り組みます。
(高齢者等生活支援サービス基盤整備事業費 12,931)

産業振興・雇用創出

「県内企業に首都圏からUターンしたい人を迎え入れる体制を整備することが大事ではないか」

⇒ 「オールやまがた若者定着推進会議」に参画する関係団体等と連携して県内企業の情報発信やインターンシップの受入れを推進し、県内就職・定着を図ります。
(県内定着・回帰促進事業費 12,109)

農林水産業の展開

「園芸振興に向け、庄内の水田地帯において大規模な園芸団地の整備を進めてはどうか」

⇒ 新たに配置する園芸団地化推進員(仮称)や市町村、JA、土地改良区等と連携した支援チームによる合意形成や生産・経営管理への支援、施設整備等に係る助成など、園芸団地づくりに向けて総合的な支援を展開します。
(園芸大国やまがた推進事業費 254,012)

「観光立県やまがた」の確立

「最上地域では、ブナを売りにして観光を推進しているが、これに滝を加えた企画を考えてはどうか」

⇒ 山形の魅力ある滝について、国内外に情報発信を行い、ブナなどの地域の特色ある観光資源と組み合わせた観光周遊ができるよう有効活用を図ります。
(重点テーマ周遊促進事業費 5,000)

環境資産の保全・創造・活用

「川に柳などが生い茂っているところがある。きれいな川面が見えるように対応するべき」

⇒ 支障木の繁茂状況や土砂の堆積状況等に応じ、計画的に支障木伐採や堆積土の掘削等を実施し、河川環境の保全に努めていきます。
(河川流下能力向上対策事業費 262,089)

県土基盤の形成

「地域おこしに取り組むグループが情報交換できる機会など、地域の課題解決や活性化を図ってはどうか」

⇒ 住民が地域課題や対応策について情報交換を行う「地域未来フォーラム」を開催するとともに、住民自らが暮らしを支える活動を行う地域運営組織の形成に向けたモデル事業の創出に取り組みます。
(活力ある地域づくり推進事業費 19,104)